

2021年度「学校をよりよくするために」結果のまとめ

I. 小中共通質問項目について

【小中一貫教育にかかわる内容について】

1. 小中一貫教育の良さを感じる場面がありますか（生徒調査）

生徒	竹見台中 肯定群	2019	75.3%	(1年生	79.4%	2年生	83.3%	3年生	63.2%
		2021	73.9%		82.3%		75.9%		63.4%

学年が上がるにつれて、数値が下がっている傾向がありますが、中学に入学してすぐの1年生の方が、よりその良さを感じやすいからなのかもしれません。他のブロックにはない「金曜日登校」という独自の取り組みが、子どもたちの中の小中のギャップを、より少なくする手助けになっているものと考えられます。

2. 金曜日に中学校へ行くことは、自分にとって役立つと思いますか。（小6児童・生徒調査）

金曜日登校は子どもにとって意義があると思いますか。（保護者調査）

児童	千たけ小 肯定群	2019	88.9%	桃山台小 肯定群	69.0%
		2021	92.9%		69.5%
保護者	千たけ小 肯定群	2019	96.8%	桃山台小 肯定群	75.3%
		2021	92.6%		80.1%

新型コロナの影響で、十分な取り組みができていないにもかかわらず、例年同様の評価をしていただくことができました。小中一貫の取り組みが、地域の文化として根付いているのを感じます。今後も小中一貫の意義やメリットを、しっかり子どもたちや保護者の方々にお伝えしながら、取り組みを進めていきたいと思っています。

3. 金曜日登校で中学校の先生に教えてもらうことはよかったですか。（小6児童・生徒調査）

中学校の先生に教えてもらうことは、子どもにとって意義があると思いますか。（保護者調査）

児童	千たけ小 肯定群	2019	95.2%	桃山台小 肯定群	84.6%
		2021	94.4%		86.0%
保護者	千たけ小 肯定群	2019	92.1%	桃山台小 肯定群	76.5%
		2021	95.6%		85.2%

金曜日登校の醍醐味のひとつである、様々な小中の教員や外部の講師による出前授業形式ですが、普段とは異なる場所で、その都度新しい出会いの中で授業が行われるため、新鮮な気持ちで授業に臨むことができているようです。それが子どもたちや保護者の方の数値にも、しっかり表れているように思います。

4. 小中一貫教育の中で、どのような取り組みをしているか、わかりやすく説明されていますか。（保護者調査）

保護者	竹見台中 肯定群	2019	89.2%	千たけ小 肯定群	86.2%	桃山台小 肯定群	74.1%
		2021	88.6%		80.1%		75.9%

新型コロナウイルスの影響で十分な取り組みができていない中、例年に近い数値の評価をいただけたことは、大変ありがたいことだと思っています。もっと分かりやすく、学園の小中一貫の取り組みを知ってもらえるよう、ホームページや学園通信等を活用し、子どもたちの授業や交流の様子を家庭や地域に発信していきたいと考えています。

【児童・生徒集団にかかわる内容について】

1. 毎日、教室にいて安心できますか。(全児童調査) 新規項目
 子供は学校に安心して登校していますか。(保護者調査) 新規項目

児童・生徒	竹見台中	肯定群	2019	*	千たけ小	肯定群	*	桃山台小	肯定群	*
			2021	88.2%			88.6%			86.0%
保護者	竹見台中	肯定群	2019	*	千たけ小	肯定群	*	桃山台小	肯定群	*
			2021	90.9%			97.9%			96.4%

小・中学校ともに、児童・生徒においては80%以上、保護者においては90%以上が学校を安心できる空間と肯定的にとらえていることがわかりました。児童・生徒がお互いを尊重しながら高めあうことのできる集団づくりをめざして、今後も取り組みを進めていきたいと思っています。

【児童・生徒指導にかかわる内容について】

1. 『学園生活目標』である「あいさつをしよう」「しっかり聞こう」などに、すすんで取り組んでいますか。
 (全児童・生徒調査)

児童・生徒	竹見台中	肯定群	2019	87.9%	千たけ小	肯定群	90.4%	桃山台小	肯定群	88.4%
			2021	87.0%			90.4%			92.6%

90%程度の児童・生徒が、学園生活目標を意識して日々生活しているととらえています。3校でそれぞれが意識づけをし、日々取り組んでいる成果だと考えます。今後も、具体的な取り組みとともに、継続的に声掛けや意識づけをしていきたいと思います。